

会 議 録				
平成 2 5 年度第 3 回 社会教育委員の会議	日 時	平成 25 年 7 月 22 日(月) 午前 8 時 30 分～18 時 00 分	場 所	小金井市立清里山荘
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出 席 者	委 員	本川議長、伊藤副議長、小林、佐野、田尻、樹、中村、本多、松田 各委員		
	その他	欠席 倉持委員 天野生涯学習課長		
	事務局	伊東生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可	傍聴者数	0 人	
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1. 協議事項				
(1) (仮称)小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて(提言)の機関決定について				
(2) 第 2 7 期社会教育委員へ向けての申し送り事項について				
2. その他				
(1) 林間学校のルートについて				
(1) (仮称)小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて(提言)の機関決定について				
(本川議長)				
<p>それでは、始めさせていただきます。まず、提言の機関決定についてだが、先日図書館協議会の松尾会長からご連絡があり、図書館協議会は、6月21日の会議において、提言の機関決定を行ったということである。社会教育委員も本日の第3回社会教育委員の会議の場を持って、提言の機関決定を行いたい。よろしいか。拍手で賛同いただきたい。</p>				
(拍手)				
(本川議長)				
では、機関決定させていただいた。ありがとう。				
(2) 第 2 7 期社会教育委員へ向けての申し送り事項について				
(本川議長)				
次に、第 2 7 期社会教育委員に向けての申し送り事項について、ひとりずつ発表していただく。それでは、伊藤副議長からお願いする。				
(伊藤副議長)				

2点ある。1点目は、引き続き今後も三者が協働していけるよう、推進していただきたい。第1ステップは「科学の祭典」である。今後も継続して実施していただきたい。第2ステップは、「小金井市生涯学習支援センター機能の実現」のために、中期目標を定め、実現に向けて進めていただきたいということである。例を挙げると、生涯学習支援センターに関する講座の開講や、団体登録フォーマットの統一、情報収集の方法などが考えられる。

2点目は「第3次小金井市生涯学習推進計画」策定に当たり、現状のものよりシンプルなものにするのはどうか。現状の講座を部局の垣根を取り外して、同じ内容と思われるものを洗い出し、重複する内容の講座は、その内容に最もふさわしいと考えられる部局で実施する。カード方式で整理するとわかりやすいと思う。以上である。

(松田委員)

小金井市生涯学習支援センター機能設立に向けて、少しでも実現できるように、次期委員の方々にも引き続き、話し合いをお願いしたい。また、科学の祭典の参加については、三者のつながりを深めるためにも、また社会教育委員の存在を市民に知っていただくためにも、これからも続けて参加して頂きたい。小金井市生涯学習センター機能の実現に向けて、という大きなテーマがあるが、次期委員の方々には、これに加え、そろそろ新しいテーマを探る一年にされたらいかがかと思う。

(本多委員)

今期委員を務めてきて良かったことは、三者合同にて「科学の祭典」へ積極的に参加したことにより三者がお互いを理解できたこと、三者合同会議にて「(仮称)小金井市生涯学習センター機能の実現に向けて」を今後の課題として全員で取り組んだこと、三者合同の検討委員会を募り、積極的に集まりができたことである。来期でもこのことを継続していけると良い。

(佐野委員)

継続性を大切にしてほしい。

(中村委員)

三者が足並みをそろえながら、社会教育委員がまとめ役となり、合同事項の推進に向けて、積極的に提言のとりまとめをする必要がある。

(樹委員)

第3次小金井市生涯学習推進計画の策定が大きなメインテーマになると思うが、一市民から見て、理解して頂けるような分かりやすいものになるよう、市民の目を持って取り組んでもらいたい。

また、提言から一歩進み、中期目標の設定や情報収集など、形になっていけるような話し合いをしてほしい。三者が、合同会議・懇談会・科学の祭典などで関わりが深まってきたので、これからも相互理解を深めて頂きたい。

(小林委員)

提言が三者合同で提出することは大変意義のあることなので、次は各論に入る時期にしてもらいたい。私は図書館協議会に出向したが、図書館の運営方針と、貫井北町地域センターの運営に当たるNPO法人について話をし、7月19日に答申をした。三者で貫井北町地域センターの運営について検討することができればいい。三者の足並みを揃えていくことを大切にしてほしい。

(田尻委員)

学校現場について知ってもらいたい。教育活動がどのように行われているかを知るとはとても大切なことで、現在3名の社会教育委員が学校運営連絡会委員として、現場について意見を頂いている。また、本年度から学校支援地域本部を各学校が立ち上げている。地域コーディネーターを中心に、より地域と密接な関係を持ちながら、教育活動を進めていくねらいがある。このことを知っていただいて、学校現場についての理解を深めてほしい。

(本川議長)

ありがとう。私は、まず次期の方には欠席をしないことをお願いしたい。公職の身分だと思うので、やはり引き受けた以上極力参加してもらいたい。それから、学校運営連絡会の推進を行っていただきたい。先日の懇談会のように、社会教育委員の行っていることを教育委員に理解していただくことは大切であるので、学校運営連絡会の公募があった際にはぜひ参加してもらいたい。また、提言についてだが実現性はまだわからないが第3次生涯学習推進計画ができる際には、どこかに文言を入れていただければと思う。また、都市社連協の第5ブロックのつながりが非常に良いので、これからも他市の情報を知る意味も含めて、交流を続けてもらいたい。

2. その他

協議終了後、田尻委員から次のとおり報告があった。

(1) 林間学校のルートについて

(田尻委員)

それでは今回の視察場所である清里山荘周辺で、小学校が林間学校で訪れるルートについて説明する。まず飯盛山だが、本日合流する本町小学校もここで登山を行っている。平沢から登り始め、下山途中獅子岩で休憩し、そこからゴルフ場を通過して下山するルートになっている。また美し森は木の階段を上って15分程のところ展望台があり、そこからの景色は大変素晴らしいものである。帰りに清泉寮に寄ってソフトクリームやお土産を買う学校がある。

他にも八ヶ岳牧場や、農業実践大学校で様々な体験を行っている。山梨の考古学博物館に寄る学校もあり、そこでは勾玉づくりや火起こし体験ができ、施設内に小さな古墳もある。本町小学校は飯盛山登山を終えたあと、JR最高地点で休

憩し着替えを済ませて、近くを流れる大門川で川遊びを行う予定である。

以上